

⑧

平成 14 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 福井コンピュータ株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 小林 眞  
(登録銘柄 コード番号 9790)  
問い合わせ先 取締役管理本部長 落野 勝  
TEL: 0776-53-9200

## 業 務 提 携 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成14年5月15日開催の当社取締役会において、住宅業界の新ビジネス構築のために、日本ユニシス株式会社及び日本ユニシス・エクセリョーションズ株式会社との包括的業務提携について、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業務提携の趣旨及びその内容

業務提携の趣旨は、当社と日本ユニシス株式会社および日本ユニシス・エクセリョーションズ株式会社の3社が住宅業界においてこれまで培ってきた実績・ノウハウをベースに住宅業界全体に対し、より一層の業界支援・新ビジネス構築を行うことを目的とするものです。(詳細は添付資料をご参照下さい)

#### 2. 業務提携先の概要

日本ユニシス株式会社

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 商 号       | 日本ユニシス株式会社  |
| (2) 所 在 地     | 東京都江東区豊洲 1-1-1  |
| (3) 代表者の氏名    | 代表取締役社長：島田 精一   |
| (4) 設 立 年 月 日 | 昭和 33 年 3 月 29 日  |
| (5) 資 本 金     | 54 億 8,317 万円   |
| (6) 事 業 内 容   | コンピュータシステム等の販売、賃貸、ソフトウェアの製造、販売、各種システム関連サービス、電気通信事業ならびに情報の処理および提供サービス等 |
| (7) 従 業 員 数   | 4,744 名   |

(注)平成14年5月29日現在、資本的關係、人的關係はありません。

日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社

- (1) 商 号 日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社  
(2) 所 在 地 東京都新宿区若松町33-8  
(3) 代表者の氏名 代表取締役社長：河村 元樹  
(4) 設 立 年 月 日 昭和59年11月1日  
(5) 資 本 金 1億円  
(6) 事 業 内 容 ・ソフトウェアの技術サービス  
・ソフトウェアの開発受託および販売業務  
・ コンピュータおよびその関連機器、並びにその消耗品の  
販売業務等  
(7) 従 業 員 数 232名  
(注) 平成14年5月29日現在、資本的関係、人的関係はありません。

3. 業務提携日

平成14年5月15日

4. 今後の見通し

当社はこの度の業務提携により、これまで住宅業界では、設計・積算などの限られた分野でしか利用されてこなかった IT ツールを住宅業務全般に行き渡らせ、CAD だけではなし得なかった新住宅ビジネスの構築・支援を行い、将来的には住宅各社の経営全般のサポートを行っていきます。このことにより、中長期的には当社の業績に多大な貢献があるものと期待しております。

以 上

## 【添付資料】

2002年5月29日

### 福井コンピュータ、日本ユニシス、日本ユニシス・エクセリューションズ 住宅業界の新ビジネス構築のために包括提携

福井コンピュータ株式会社  
日本ユニシス株式会社  
日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社

福井コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市高木中央 1-2501 代表取締役社長：小林眞）、日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区豊洲 1-1-1 代表取締役社長：島田精一）および日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社（本社：東京都新宿区若松町 33-8 アール・ビル新宿 代表取締役社長：河村元樹）の3社は住宅業界においてこれまで培ってきた実績・ノウハウをベースに住宅業界に向けて、より一層の業界支援・新ビジネス構築を行うことを目指し、業務提携を締結しました。

住宅産業では国内景気動向の悪化や少子化などの社会的要因による住宅着工件数の減少から危機感が増しつつあります。また、瑕疵担保責任・性能表示制度といった消費者保護の法律への対応、低価格で高品質な住宅供給システムの再構築など、これまでになかった新しい課題が山積しています。このような状況の中、住宅業界は再編の時代を迎え、生き残りをかけた競争がさらに激化することが予想されます。この状況は建材メーカーでも同様であり、総合住設建材メーカーにおいてもこの動きに対応するための業務提携が盛んとなっています。

このような厳しい時代にあって、販売拡大とコスト削減の両面の課題を同時に解決する方法の一つとしてビジネススタイルのIT化、デジタル化推進が挙げられます。この課題を解決するため、福井コンピュータと日本ユニシス、日本ユニシス・エクセリューションズの3社は、住宅取得スタイルを変革する“見込み客獲得システム（仮称）”の構築を含む、5つの共同プロジェクトを運営していくことで、これまでCADだけでは成し得なかった新住宅ビジネスの構築・支援を行っていきます（別紙 図1参照）。まず、第1のプロジェクトとしては、最近これまでの住宅のコストを大きく下回る「低価格・高品質住宅」が注目を集め、インターネット世代が今後の住宅建築・購入のメインターゲットとなってくることから、住宅メーカーや工務店が営業戦略・営業手法の転換を行

い、これからの受注競争に対応するために、新しい見込み客獲得システムの構築を行っていきます。“見込み客獲得システム”はインターネット上のポータルサイトとして展開する計画で、このシステムを採用した ASP サイトサービスを 2003 年 4 月に開始、共同運営することを予定しています。

また、包括提携によるその他のプロジェクト(別紙参照)としては、大きく 4 つあり、以下のようになっています。

インターネット時代における住宅ビジネス構築を目的とした相互ソリューションの共有

各段階におけるコスト削減による競争力強化を目的とした住宅建築データベース標準化への取り組み

住宅建築情報、企業内情報の標準化による効率化支援を目的とした住宅施策標準化の推進

建築現場における IT 化促進を目的とした業務系システムの研究・開発

福井コンピュータと日本ユニシス、日本ユニシス・エクセリュージョンズの 3 社は、今回の包括提携を基に、これまで設計・積算などの限られた分野でしか利用されてこなかった IT ツールの住宅業務全般への普及を目指し、将来的には住宅各社の経営全般のサポートを行っていきます。

記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

< 報道関係問い合わせ窓口 >

福井コンピュータ株式会社 営業本部 宮田 / 販売企画部 橋本

Tel:0776-67-6210 <mailto:tomato@po.fukuicompu.co.jp>

日本ユニシス株式会社 コーポレートコミュニケーション部広報室 農添

Tel:03-5546-7404 <mailto:i-box@unisys.co.jp>

# 別紙

## 1. 業務提携 Project とその目的

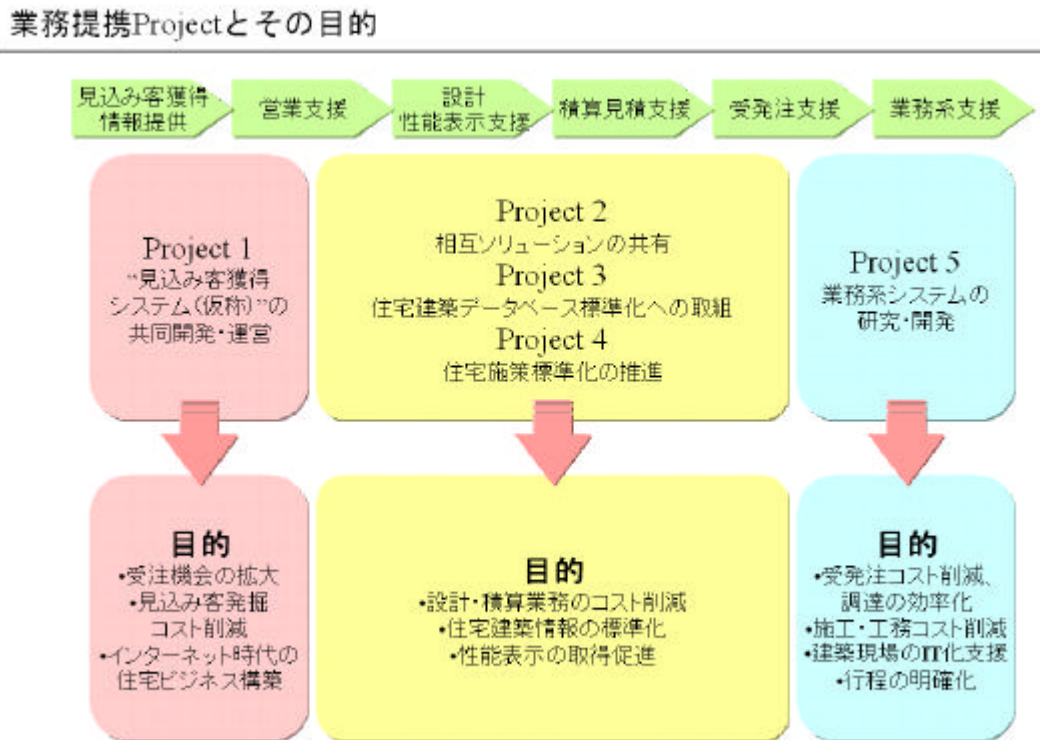


図 1：業務提携 Project とその目的

## 2. その他プロジェクトの詳細

### 相互ソリューションの共有

住宅業界へのセールスにおいて、3社のコアコンピタンスの相互理解に基づき、ユーザの望むソリューションを相互に活用できる体制の確立を目指します。また体制推進のため3社の商品群およびユーザに対するサポート・教育に関して福井コンピュータが全国展開している営業拠点の機動力、日本ユニシスと日本ユニシス・エクセリューションズのトータルなシステム提供能力を有効活用します。

### 住宅建築データベース標準化への取り組み

営業支援、設計支援、積算支援、業務支援までを包括する住宅のデータベース構築を3社協力のもと取り組み、共有できるデータベースの構築、および今後の住宅業界における業界標準化を目指します。また、インターネット3D形式としては、ラティス・テクノロジー社提供のインターネット対応軽量3Dファイルフォーマット「XVL (eXtensible Virtual world description Language) 注」ファイルを住宅建築業界で標準化を図ります。

#### 住宅施策標準化の推進

建築確認申請図書標準化推進、性能表示制度の義務化、性能評価制度の標準化推進など官民レベルでの標準化推進に 3 社協調体制で臨みます。

#### 業務系システムの研究・開発

住宅業務において必要な業務系ソフトの共同研究・開発・共同販売を予定しています。

注：XVL (eXtensible Virtual world description Language) : 「XVL」(eXtensible Virtual world description Language)は、Webの次世代記述言語 XML (eXtensible Markup Language) をベースにした超軽量 3D 表現として、ラティス・テクノロジーが提唱する言語形式。